

まるもり 議会だより

Miyagi Prefecture
Marumori Town Assembly
News

第248号



2019. JUL
令和元年7月18日

発行 宮城県丸森町議会
編集 議会広報常任委員会



「ザンビア丸森プロジェクト」報告会

6月議会

議会懇談会	2ページ
町はどう応えたか	4ページ
一般質問 7名の議員が町政を問う	8ページ



まあるい森の里からごんにちわ

議会懇談会

たくさんのご意見・ご要望

ありがとうございます

本年度第1回目の議会懇談会を開催しました

議会では、議会改革の一環として、議会懇談会を年2回行っており、今回で21回目の開催となりました。

議会懇談会は、議会の報告及び、町民の皆様と意見交換を行う重要な場として開催しています。

今回開催した議会懇談会は、5月29日から31日までの3日間、議員が3班に分かれて各地区まちづくりセンターを中心に行いました。懇談会では、前回懇談会で出された要望事項への対応状況、平成31年度予算の概要、予算に係る要望事項の内容などを報告し、出席者から貴重な意見・要望等をいただきました。

意見・要望への対応

懇談会での意見・要望は、議会懇談会実行委員会でのその内容を整理します。

その後、議会自ら取り組むべき項目は、議会内で対応を検討します。

町に対する事項は、一般質問や総括質疑で考えをたずほか、常任委員会の所管事務調査で進捗状況を確認するなど、次回の懇談会で対応状況を報告します。

議会懇談会出席者状況

開催日	地区 (人数)
5月29日 (水)	金山 (14人)
	筆甫 (8人)
	小斎 (8人)
5月30日 (木)	丸森 (12人)
	大内 (11人)
	館矢間 (13人)
5月31日 (金)	大張 (47人)
	耕野 (13人)
	羽出庭 (11人)
出席者総数	3日間 合計 137人



大張まちづくりセンター

主な意見・要望

I 議会に対する 意見要望

【議員なり手不足の対応】

議員定数削減や報酬問題、若い世代のなり手不足、定数割れ等、深刻な課題を抱えている議会が増えている。対応策は考えているのか。

II 町政一般に 対する意見要望

【定住対策】

地域おこし協力隊への支援と併せて、丸森で生まれ育ち、住み続けている町民へも重点を置く支援を進めてほしい。

【町税等の納付方法】

町税等の納付について、住民の利便性を考え郵便局での納付も検討してほしい。

【運転免許証自主返納】

65歳以上の自主返納者への町民バスや阿武隈急行等の利用券1万円分1回限りの交付では優遇制度は不十分だ。

【有害鳥獣解体処理施設】

来年4月の供用開始を目指すし、多額の費用をかけて建設するが、有効活用ができるのか。

【子どもの遊び場】

町の公園で遊んでいた子どもが、落ちていた釘でケガをした。

定住促進のためにも安全な遊び場が必要だ。公園の数も増やしてほしい。



館矢間まちづくりセンター

【丸森病院】

丸森病院の中待合室で、診察中の他人の病名や指導内容が聞こえる。プライバシーに配慮して診察してほしい。

【学校周辺の安全対策】

館矢間小学校前交差点は交通量が多く、車の速度も速いので危険を感じている。歩行者を守る防護柵の設置を望む。



筆甫まちづくりセンター

こた はどう応えたか

要望決議について、次のとおり回答がありました。



「いざ初陣」ブランド米づくり

コンビニで納税可能に

要望 町税等の納付がしやすい、新たなシステム等を導入して、収納の向上に努めること。

回答 町税等を、新たにコンビニエンストアで納付できる方法は、納税方法が増え、納税者の利便が高まり、収納率の向上にもつながるので、現在、コンビニ納付の導入に向けた、体制整備を進めている。

産業活性化法人を支援

要望 地域資源を活用した商品の開発と販売事業を進め、地域や町民が豊かになるよう指導すること。

回答 現在、産業活性化法人は、地域商社、農業生産、観光推進の各部門で、地域資源を活用した商品の開発と販売事業を進めている。町民に利益を還元できる法人にするため、今後支援を行う。

病院空調改修は2か年で

要望 丸森病院の施設と機器修繕は、計画内容を十分精査して進めること。

回答 建物の重要部分である、空調設備と電気系統の大規模改修は本年度と来年度で行う。

医療用機器は補助事業を活用するなど、優先度を見極めながら順次更新する。

移住定住は官民一体で

要望 移住・定住は、新たな支援と、受入れの強化を、官民一体で進めること。

回答 全国の取り組みを参考にして、移住希望者のツアーや相談会を官民一体で進める。

また、移住のワンストップ相談窓口の充実を行い、相談対応に努める。



更新が計画されている空調用ボイラー

町に要望の議会

3月定例会で提出した平成31年度各種会計予算に関する

仮置場の管理は徹底する

要望設置を延長した、放射性汚染除染物仮置場は、徹底した管理を行うこと。

回答汚染土壌はフレコン詰めし、盛土を行った上から、耐久性に優れた遮水シートで覆い、安定的な保管をしている。

これからも、定期巡回監視と、強風や大雨の際は速やかな巡回を行い、維持管理の徹底に努める。

道路補助金を強く要望

要望遅れている道路改良事業を、確実に進めるとともに、丸森型道づくりコラボ事業を強化して、住民要望に応えること。

回答国の社会資本整備事業交付金を活用する道路改良事業は、事業費の増額を強く要望していく。

コラボ事業は、確実に実施して町民の要望に応える。

地域営農組織を育成

要望有利な補助を活用した圃場整備や農地集積を進め、担い手や営農組織を育成すること。

回答将来の地域農業基盤の強化をするため、農家の負担がない圃場整備や、農地の集積を進めると共に、担い手の確保と、地域営農組織の育成支援に努める。

児童に望ましい小学校に

要望小学校の再編統合は、子どもにとって最良の教育環境の視点で、町民の意見を集約して進めること。

回答今年度、住民、保護者の代表と学校関係者で、丸森町立小学校再編統合基本方針検討委員会を立ち上げ、児童にとって望ましい小学校のあり方を検討し、内容については、住民説明会を開催し、報告する。

建替方針を示す

要望あぶくま荘改築計画と、運営方針は、町民サービスと観光振興のためにも早期に立案すること。

回答改築については平成24年度から検討を続けているが、現在、あらゆる可能性について、さらに情報収集や内部での協議を行っているので、本年度前半までに、町の方針を提案する。



共同で収穫作業をする（農）羽山の里佐野のみなさん



建替方針が提案されるあぶくま荘

生活支援に アップレミ商品券

6月議会のあらまし

6月議会定例会は、6月10日から12日まで3日間の日程で開催しました。

議会では、平成30年度一般会計繰越明許費※など4件の報告のほか、条例の一部改正、各種会計補正予算等の議案が提案されました。慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

一般質問には7名の議員が登場し、保育無償化、ふるさと納税、森林の魅力アップ等について議員自らの考えを交え町長の考えをたずねなど、活発な議論を交わしました。

※一口メモ 「繰越明許費とは」

繰越明許費は、何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、翌年度1年間に限り繰越して使用することができるといいます。

主な補正予算

プレミアム付商品券事業に 2236万円

消費税率10%の引上げに伴う住民税非課税者と0.3歳半の子どもがいる世帯の家計に与える影響の緩和等を目的とした事業で、プレミアム付商品券の販売に係る予算です。

町から販売業務を委託された商工会が、2万5千円分の商品券を2万円で販売する予定です。

該当者は、事前に町から送付された引替券で商品券を購入することができます。商品券は、一人最大5回に分けて購入が可能です。

交通安全対策費に 36万円

今年1月の交通死亡事故発生による緊急対策として、高齢者約3300人分に配付する反射タスキを購入する予算です。

有害鳥獣解体処理施設の用地取得に 86万円

有害鳥獣解体処理施設を丸森町字敷文東に建設するため、用地を取得する予算です。

長内地内遺跡試掘作業に 96万円

館矢間長内地内2か所の遺跡試掘作業に係る予算です。

過疎計画の変更

阿武隈急行支援事業などを追加

「過疎地域自立促進計画」は、個性と魅力にあふれた自立できるまちづくりを実現するため、平成28年度から令和2年度までの間に実施する事業計画です。

今回、阿武隈急行の車両更新等に係る事業として阿武隈急行支援事業、大張小学校体育館屋根修繕事業として学校施設の維持管理補修事業を追加し、計画の変更を行うものです。



丸森駅に到着した新車両

令和元年 第3回議会定例会

議案一覧

6月議会ではすべての議案を全員賛成により  しました。

報告第2号	平成30年度丸森町一般会計繰越明許費繰越計算書について
報告第3号	平成30年度丸森町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
報告第4号	平成30年度丸森町工場団地造成事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
報告第5号	平成30年度丸森町水道事業会計予算繰越計算書について
議案第31号	選挙における投票管理者、開票管理者等に対する報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第32号	丸森町町税条例の一部を改正する条例制定について
議案第33号	丸森町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
議案第34号	丸森町過疎地域自立促進計画の変更について
議案第35号	町道路線の認定について
議案第36号	令和元年度丸森町一般会計補正予算（第2号）
議案第37号	令和元年度丸森町介護保険特別会計補正予算（第1号）
発議第2号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

議会映像を配信しております。

町民の皆さんに議会と町政に関心を持っていただくため、議場での本会議の映像を役場町民ホール及びインターネットで配信（ライブ中継）しております。

また、インターネットでは、過去の一般質問の録画映像を視聴することもできます。丸森町議会ホームページよりご覧ください。

[丸森町議会中継](#)

[検索](#)

スマホでまるもり議会だよりが読めます

右のQRコードをスマートフォンのカメラ（バーコードリーダー）で読み取って丸森町ホームページの議会事務局のページにアクセスすると、議会だよりをご覧いただくことができます。どうぞ、ご利用ください。



一般質問 町政を問う

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずめるものです。
今回は7人の議員が質問しました。

頁	議 員	質 問 事 項
9	宮 本 昭 雄 議員	●保育無償化、町対応は
10	鈴 木 美智子 議員	●ふるさと納税の今後は
11	石 井 央 議員	●森林の魅力アップを
12	一 條 己 議員	●齋理屋敷前の整備を
13	船 山 俊 一 議員	●子どもの食育推進を
14	板 橋 勇 議員	●肥育実証事業の活用は
15	大 槻 正 儀 議員	●環境基本計画の完全実施を



保育無償化、町対応は

町長 家庭保育支援を検討



みやもと しょうお
宮本 昭雄 議員

今年10月から保育料無償化が始まる。新たな子育て支援策を問う。

問① 無償化制度の内容は

答① 3〜5歳児のすべてと、住民税非課税世帯の0〜2歳児の保育料が無償となる。

また幼稚園も上限があるが無償化される。

無償化の財源は、国2分の1、県と町で残りを半分以上負担する。

問② 町の第2子以降保育料無料化予算はいくら縮減されるのか。

答② 1500万円ほど軽減される。

問③ 第2子以降保育料無料化制度を見直し、第1子も含めたすべてを無料化にできないか。

答③ 完全無償化では町の財政負担が約5000万円増えるため難しい。

問④ 新たな子育て支援の考えはあるか。

答④ 家庭で保育している世帯への支援を検討したい。

問⑤ 少子化対策の面からも、若者や子育て世代、U・Iターン者の定住を促すため、低廉な宅地の提供に努めるべきだと思いがどうか。

答⑤ 良好な立地で低価格の宅地需要は高いと見ている。町内で複数の民間事業者に宅地分譲参入の動きがある。町の定住助成事業と民間の分譲事業とを組み合わせ、連携しながら新規転入や定住促進に努めていく。

問⑥ 子育て支援とともに、定住促進は町の大きな課題であるが、現在は1課で対

応している。

組織を見直し、それぞれの施策を強化する体制とすべきではないか。

答⑥ 少子高齢化、人口減少などの地域課題に対応しな

がら、町総合計画の確実な推進による福祉向上のためにも、よりよい組織の検討に着手した。結果をもとに令和2年度から新体制をスタートさせたい。



保育支援で少子化改善を

ふるさと納税の今後は

町長 積極的に進める

問①ふるさと納税の寄附金は重要な財源だが、依存しすぎると町政に何らかの支障が出ると考える。制度を活用しつつ、先を見据えた取り組みが必要だが、どう町政に活かすか。また、丸森ファンネット事業を兼ね、どうファンを獲得するのか。

答①重要な自主財源を確保する手段であり、寄附を通じて、丸森町や町の特産品の良さを知ってもらおうきっかけにもなる。

また、体験型のメニューや各種交流事業への参加を新たな返礼品とすることで、魅力を体感してもらい、誘



鈴木美智子 議員



手しごと館で返礼品の山ぶどうバッグも作る様子

客の促進と交流人口の拡大が図られ、丸森ファンの獲得へもつながると考える。

問②返礼品に電子券を加え加盟店で直接返礼品を受け取り、寄附もできる新たな仕組みを構築してはどうか。

GM7が経営するアンテナショップと直売所での導入をどう考えるか。

答②電子券が返礼品の対象になるのか改めて調べる。本町の特産品以外の商品も取り扱っている店舗があり店頭で混乱しない方法を

検討し対応できるか進める。

問③返礼品や活用企画の立案などを検討する、各課を横断したプロジェクトチームを発足してはどうか。

答③関係課との連携を図り、インターネットの更なる活用や事業者とも協働して企画検討を積極的に進める。

問④使途指定のない寄附はどんな事業に活用するのか。あぶくま荘改築の財源とし、更にクラウドファンディングで寄附を募り、基金を積み立てて活用すべきではないか。

答④財政的に厳しく、年度内の事業に使用している。あぶくま荘は改築等を検討中で、事業計画が具体化したらクラウドファンディングや基金も検討し進める。

森林の魅力アップを

町長 実施に向け検討している



いし い 石井
ひさし 議員 央

政務活動費を使用し、愛知県東栄町、岐阜県揖斐川町等の視察研修を実施した。2町とも町土の9割以上が山林、森林の緑と透き通る清流が美しい自然豊かな町だ。

人口減少、少子高齢化は町政の最大課題とし、積極的に施策の展開が図られていると強い印象を受けた。ふるさと森づくり条例を制定、豊かな自然を生かす事業の実施、目的は交流人口、関係人口を増加させるファンを広げ移住者を増やす、少子化、定住対策に取り組み成果をあげていた。

問①「水とみどりの輝くまち」として森林整備、計画策定の基本的考え方、取り組みについて問う。

答①本町の森林面積は19147haで、所有者は小規模、高齢化、木材価格の低迷等、森林経営への意欲や関心が低下し課題だ。

本年4月「森林経営管理法」が施行、森林環境税、譲与税が施行、県及び市町村に譲与される予定だ。

本町では制度の対象となる森林は4500haで、運用にあたり、森林所有者に経営管理権の設定について意向調査を行い、市町村に管理権を設定することから複数年で実施したい。

これら制度の運用、活用については森林組合などと協議をしながら進める。

本町の貴重な財産である森林の多面的機能の維持に努めるほか、交流・教育・健康に着目した新たな森林活用に向け検討している。

問②不動尊公園、周辺整備の取り組みを問う。

答②不動尊公園とその周辺は昭和63年に県立自然公園の指定を受けており県内でも優れた景勝地で、年間約

15万人が訪れている。不動尊公園エリアの大規模整備計画はないが景観保全のため、保勝会とも連携し整備に努める。



ナラ枯れ防除伐採作業

事業地	丸森町宇上滝西
事業名	元林振替(号)ナラ枯れ防除伐採(宇山)
撮影月日	令和元年度
事業量	5,091 m ³
植栽年度	9本
位 置	207口2
その他	伐倒

齋理屋敷前の整備を

町長 町の考えを示し協議する



いちじょう
一條

おさむ
己 議員

問① 齋理屋敷前の県道の道路改良プランを県に示してはどうか。

県道霊山線と役場西の町道木沼竹谷線の付け替えが早くからいわれてきた。町の財産である立派な道路が県道と付け替えるときに、古い県道は同じ価値くらいに改良してもらう必要がある。

答① 夏の恒例イベント齋理
現在、齋理屋敷前の県道は、イベント会場として活用されている。商工会から神明社の間を石張りやブロックを使うなどして、住民や観光客の安全や景観向上の改良を進めてはどうか。



齋理幻夜の風景

幻夜は、毎年好評を得ている。県道が移管されることとなった場合は、齋理屋敷や周辺の景観が損なわれないうように、町としての考えを強く示しながら十分な協議を行いたい。

問② 齋理屋敷前の道路と、裏町の田町線や横町線を一体的改良してはどうか。裏町には、アパートや商店・事業所があり、高齢者の住居も多くある。空き家や空き地を有効に利用して、連

絡道路や駐車スペースを確保し、2本の道路を一体化して、齋理屋敷のイメージに合う、新しい街並をつくり、住民の利便性向上や観光客が回遊できるようにしてはどうか。

答② 中心市街地で、住宅等が密集し、道路整備は困難な状況にある。住民や自治組織などと連携を図りながら、観光客の散策を促すような景観づくりの取組みで路線の効用が増すと考える。

問③ 園児や児童生徒の園外・校外活動での安全確保を万全に。

答③ 大津市で子どもが犠牲になる痛ましい事故がおきた。事前の下見や、付き添う職員を増員して、安全を第一に実施している。

子どもの食育推進を

教育長 計画的・継続的に進める



ふなやま しゅんいち
船山 俊一 議員

子どもたちが、食に関する知識を身に付け、健全な食生活を実践することにより、心と身体の健康を維持するためには、町と地域が連携を図り、「食育」を進めることが重要である。食育推進の視点から、本町の今後の方向性を問う。

問①近年、生活の多様化等により、家族との共食が難しい子どもたちに、共食の機会を提供する活動が、広がりを見せている。

本町でも、子どもたちに対し、無料または低額で栄養のある食事や、温かな団らんを提供するとともに、

居場所づくり、地域との交流の場等の役割を担う、「子ども食堂」の展開を進めるべきと考えるがどうか。

答①町長今のところ、保育所やこども園、放課後児童クラブ等から、孤食などの相談や、心配される家庭の情報等は寄せられていないため、子ども食堂の設置は、必要と考えていない。

問②町内の小学校では、各地域で昔から大切にされてきた、特産品や食材への理解を深め、ふるさとのために、今、児童たちは何ができるかを考え、地域と連携し、特色を生かした食育推進活動に取り組んでいる。

このような、体験を通じた活動も踏まえ、今後の学校での食育の進め方を問う。
答②教育長各小学校では、田植えや野菜の栽培などに取り組んでおり、秋には収穫し、自分たちが育てた、米や野菜を味わっている。

これらの食育活動は、食物への感謝や、農業への関

心、地域への深い理解に通じるものなので、今後も食を通じた学びを進めていく。

問③食育の推進及び、保護者の経済的負担の軽減、子

育て支援等の観点から、「学校給食費の無償化」は、実施すべきではないか。

答③町長小・中学校での、給食費の無償化実施の可否について、慎重に検討する。



丸森小学校の児童たちによる田植え体験

肥育実証事業の活用は

町長 ふるさと納税返礼品に

問① 町内で生まれた県基幹種雄牛「好平茂」の産子を肥育素牛にした丸森和牛肥育実証事業の2頭は、今年9月頃に丸森和牛の名で出荷出来る見込みになった。期間と数量を限定したふるさと納税返礼品としての活用を提言し、町長の考えを問う。

答① 9月に出荷予定で、ふるさと納税サイトへの返礼品の掲載が可能となる見込みである。

今回は数量が限定されるので調整を行い、期間を限定して取り組む。



丸森産和牛 (28カ月齢・890kg)

問② この事業は平成29年から31年度までの3年間の事業で、経費は約400万円になり、事業として厳しいとみるがどうか。

答② 肥育素牛2頭の購入価格は合わせて190万円である。肥育経費は3年間の見込み額で395万円となる。出荷した場合の販売額は、A5ランクに格付けされたとして、2頭で約220万円となり、現在のところ、出荷額より経費が上回る見込みだが、繁殖農家と肥育農家との連携による繁殖肥育の地域内、または経営内の一環生産体制の確立により、生産コストが減少するものと認識している。丸森町和牛改良組合、JAみやぎ仙南などと力を合わせ丸森産和牛づくりを推進していく。

問③ 町内観光施設での牛肉提供、精肉店での販売等の具体策を問う。

答③ 丸森町観光物産振興公社から、あぶくま荘等年間を通して料理を提供したいと要望があり、すでに具体的に検討をしている。町内観光施設内での料理の提供や町内精肉店での販売などを通じ町内外のお客様が丸森産牛肉を堪能できるように、JAみやぎ仙南や卸売業者、観光物産振興公社、精肉店などと連携しながら推進していく。



いたばし
板橋

いざむ
勇 議員

環境基本計画の完全実施を

町長 計画着実に進める



おおつき まさよし
大槻 正儀 議員

町は環境の保全を行うため、指針となる第2次丸森町環境基本計画を策定し、令和元年度から10年度まで、住民や事業者と共に取組むことにした。

計画の推進について問う。

48%となった。

問①平成21年度から30年度までの10年間の取組みを、どう評価しているか。

答①一人ひとりが、環境に配慮した行動を当たり前のようにする町の姿を、将来像にして、町民と事業者と行政で、協働による取組みで進めてきた。

目標指標44項目のうち21項目を達成し、達成率は

答②町民や住民自治組織などの団体、事業者と町との多様な連携で取組む。また各地区の環境保全の取組みと連携を深めて、「清らかな水と空気と大地と人と自然が共に生きるふるさとまるもり」実現に向けて推進する。

問③これまでの計画にはあった、化石燃料に頼らない自然資源を利用する、木質系燃料ストーブなどの利用に取組むとした項目が、今回の計画からなくなった。森林面積が7割にも及ぶ過疎の町で、移住や定住を進めるうえで、町の最大の資源である森林の利活用と、計画の実践あるのみと思っ

がいかがか。

答③新風呂、薪ストーブに町内山林木材を燃料とした際の、放射能を含む焼却灰の発生と保管に対し、心配する意見があったので、今回の計画から除外した。

今回の計画策定を機会に町の自然環境を子どもから大人まで学び、町への愛着心の保持と、事業開発に向け、民間事業者などと連携して検討する。



分別から削減の時代になったプラスチックごみ



思いやりのある町

それが丸森

耕野地区

佐藤 孝志 さん

このコーナーは、議員が住民宅を訪問して直接インタビューを行い、ご意見をうかがう企画シリーズです。

Q 現在の仕事は独立してから何年になりますか。又、その時の決意は。

A 自動車修理販売業は50年、レンタカー事業は30年になります。

創業時は先輩方から物心両面での後押しを頂いたからこそ、決意出来たと思います。

Q お仕事の後継者はいますか。

A 息子がいます。従業員にも恵まれて仕事の将来の心配はありません。

Q 現在ご自分の荒れた土地を整理しているようですが、目的は何ですか。

A 引退してからの自分の楽しみ場です。憩いの場として、散歩できる公園のようなもの出来たらと思っています。

Q 丸森町が今後発展するには、どんな事が必要だと思いますか。

A 難しいですが、人口減少を抑える事、都会からUターンをしてもらう事、老後を意義ある生き方の出来る町にする事が必要だと思います。

Q 丸森町は住みよい町ですか。

A はい。住みよい町だと思います。「思いやりがある」それがなんといっても一番です。

(担当：小野勝朗委員)

議会の傍聴してみませんか

次の議会は、

午前10:00～

9月3日(火)より開会予定です

※日程は変更になる場合があります。
※本会議の日程は、後日、町ホームページでお知らせいたします。

お問い合わせ先 議会事務局まで ☎72-3038(直通)

傍聴するには・・・

- ★役場4階事務局までおいでください。
(正面玄関に入って左手のエレベーターをご利用ください)
- ★傍聴席は30席あります。
どなたでも傍聴できます。
- ★本会議中は、議会ホームページ上で、インターネットにより議会中継を配信しております。

表紙のことは

「ザンビア丸森プロジェクト」が終了し、多くの関係者が参加し事業成果が報告されました。

丸森町民が持っている伝統的な農業技術、様々なアイデアや創意工夫などを現地の人々に伝え、農業の多様化を実現するための農産物生産、加工保存技術、売るためのマーケティング、消費するための栄養・調理と多岐に亘り、貧困解消に向けた取り組みでした。

丸森町の特徴を活用した相互交流事業で、ザンビア大統領からも感謝されました。

関係者の皆さんご苦労様でした。

(二條 功委員)

議会広報常任委員会

委員長	副委員長	委員
板橋 勇	船山 俊一	鈴木美智子
		大槻 正儀
		小野 勝朗
		一 條 功



環境に優しい植物油インキを使用しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。